

令和4年度 笠置町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 検証結果

(単位：円)

事業名	事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
1 物価高騰等対策事業 (マイナンバーカード活用助成含む)	<p>コロナ禍において原油、物価高騰による家計への負担軽減の為、全住民へ商品券を配付しました。</p> <p>さらに非接触による申請等に利用できるマイナンバーカード普及促進の為、マイナンバーカードを所有している方（新規取得者含む）に対して追加で現金給付をしました。</p>	29,403,098	29,403,098	<p>地域振興券発送用宛名ラベル 5,280円 地域振興券印刷代 792,000円 地域振興券発送用封筒 12,045円 地域振興券発送郵送料 394,004円 商品券購入事務手数料 2,000円 商品券購入代金 5,865,000円 地域振興券換金 17,288,500円 地域振興券事業の事業所案内通知郵送料 6,552円 地域振興券換金業務委託料 1,317,717円 マイナンバーカード取得・活用助成金 3,720,000円</p>	<p>地域振興券及び商品券を配布し、多くの方が地域内での消費に繋がっていただいたことで、地域経済の活性化と、家計負担の軽減に寄与できました。</p> <p>また、マイナンバーカードを活用し、オンラインで確定申告を行っていただくなど、接触の機会が低減し、医療機関の受診の際には、マイナンバーカードを保険証として利用していただくなど、活用される方も増加しています。</p> <p>【参考1：地域振興券発行部数等】 地域振興券：15,000円/人（500円券30枚綴） 対象人数：1,173人（R4.9.1基準） 発行総額：17,595,000円 換金額：17,288,500円（使用率：98.26%）</p> <p>【参考2：商品券配付数等】 商品券：5,000円/人 対象人数：1,173人（R4.9.1基準） 配付総額：5,865,000円（配付率：100%）</p> <p>【参考3：マイナンバーカード助成実績等】 助成：5,000円/人 対象人数：1,173人（R4.9.1） 助成実績：3,720,000円（744人助成実績） マイナンバーカード取得率：47.6%→70.6%</p>

令和4年度 笠置町新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 検証結果

(単位：円)

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
2	地域福祉応援追加交付事業 (笠置未来っ子応援対策事業)	0歳児から学校教育法の定める学校に在学している児童・生徒を対象に、コロナ禍における家計への負担及び原油価格・物価高騰による家計負担軽減のため、現金給付を行いました。	3,550,000	3,550,000	給付総額 3,550,000円	<p>新型コロナウイルス感染症等の影響を踏まえ、笠置町の未来を担う未就学児及び学生を応援するため一人当たり50,000円を支給したことにより、原油価格・物価高騰による家計負担軽減に繋げることができました。</p> <p>【参考：給付率等（0歳児から中学3年生まで）】 対象人数：47人（R4.9.1基準） 給付人数：43人（給付率：91.5%） ※高校生以上の学校教育法に定める学校在学者数については未把握</p>
3	投票環境改善事業	コロナ禍における選挙投票体制の整備において、投票用紙を交付する際の人と人との接触を避けるため、投票用紙の自動交付機を導入し、感染対策を講じました。	1,716,000	1,716,000	投票用紙自動交付機：6台	<p>職員と投票者との接触の機会を少なくすることにより、新型コロナウイルスの感染防止・拡大抑止を図ることができました。</p> <p>また、選挙従事者においては、投票用紙の重複交付に対する心理的な負担の軽減にも繋がっています。</p>

事業名	事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
4 議場音響等システム改修事業	<p>本町議場において、執行部側の答弁マイクについては演台の1本しかない環境にありました。そのため、コロナ禍における職員間の感染リスクの改善を図るため、マイク本数の増設を図ることとしてシステムの改修を行いました。</p> <p>加えて、CATVにて議会中継を実施している本町において、執行部側の各席マイク増設をはじめとする音響機器等の改修を実施することにより、スムーズな議会運営になると共に、住民の自宅での議会中継視聴環境が整うことで傍聴者の人数を抑えることにも繋がります。議会傍聴来庁者の新型コロナウイルス感染症の飛沫感染リスクの低減を図りました。</p>	18,260,000	17,819,076	<p>議場カメラ等改修 18,260,000円 うち対象外経費としたもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50インチ液晶ディスプレイ ・ディスプレイ用壁面取付ハンガー ・ディスプレイ用SDI/HDMI変換器 ・議長席確認モニター <p>以上、4点の工事費及び値引き（按分算出）を含み440,924円を対象外経費とした。</p>	<p>議場内のすべての机上に個々にマイクを設置することによって、コロナ禍において懸念していた「マイクの共有」による感染リスクの改善を図ることができました。</p> <p>また、これまではその都度登壇をし発言をしていましたが、設備の改修によって職員が移動する時間が短縮され、議会運営がスムーズに進められるようになりました。</p>
5 入札参加資格審査システム整備事業	<p>入札参加資格申請書の受付事務を電子化することによって、コロナ禍における来庁者の抑制、紙面提出による飛沫感染等の接触機会を減らし、感染防止を図りました。</p>	1,887,050	1,887,050	<p>システム導入・運用業務委託 985,600円 インターネット接続系端末導入及び端末無線化業務委託 901,450円</p>	<p>導入初年度であったため問合せも多くありましたが、入札参加資格申請書の受付事務の電子化により多くの電子申請がありました。申請来庁者の抑制等による接触機会を減らせたことで、新型コロナウイルス感染対策と、窓口業務対応の軽減を図ることができました。</p> <p>また、変更申請や、次期受付期間においても更にスムーズに受付事務が行えるようになりました。</p> <p>【参考】 電子申請件数：887件</p>

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
6	電子申告システム設置連携事業	確定申告の際、申告者は宇治税務署もしくは、近隣市町村まで提出している環境下にあります。笠置町役場に電子申告システムを配備することにより、近隣市町村に向かわずに申告できる環境を整備し、コロナ禍における感染リスクの低減を図りました。	486,750	486,750	京都府・市町村課税事務共同化申告支援システム電子連携対応業務委託 486,750円	住民より受領した確定申告書類の提出のため、職員が税務署指定の近隣市まで持参していましたが、電子申告システムを整備したことにより持参の必要がなくなったことから、対面による接触機会の削減・新型コロナウイルス感染防止を図ることができたと共に、提出に伴う職員の移動時間の削減や心理的負担が軽減されました。
7	学校保健特別対策事業費補助金	全国的に新型コロナウイルス新規感染者数が急速に増加しており、感染対策の一層の徹底が求められることなどを踏まえ、消毒液などの購入や、臨海学習における移動手段であるバス台数を増やすことで生徒間が密とならないよう配慮しました。	81,050	41,050	笠置小学校分 詰め替え用ハンドソープ：4本 ペーパータオル：1ケース 使い捨て手袋 Mサイズ：200枚 使い捨て手袋 Lサイズ：200枚 詰め替え用消毒液：2本 臨海学習に係るバス借り上げ料（総額） 351,200円 うち笠置小学校分 48,204円 （笠置小学校児童4名＋引率3名）÷（全校児童40名＋引率11名） ※本事業については、令和4年度学校保健特別対策事業費補助金40,000円充当	新型コロナウイルス感染症に対する感染予防として、3密解消とする手立てや手指消毒に対して学校内でも引き続き実施しています。 本事業を通じて児童の感染予防対策による安全と共に、保護者への安心にも繋げることができました。

事業名		事業概要	執行額総額	交付金充当額	支出等内訳	検証結果
8	会議環境改善事業	<p>開催する会議において、新型コロナウイルス感染症の飛沫感染を防ぐため、人と人との十分な間隔を確保することから、参加者全員に発言内容が聞き取れないことを防ぐため、マイク・スピーカーシステムを導入し、飛沫感染防止と共に、会議の円滑な進行を図ることとしました。</p>	90,090	90,090	<p>ワイヤレスマイク付き拡声器スピーカー：1台 (付属ワイヤレスマイク2本付き) 追加マイク：1本</p>	<p>コロナ禍を通じてzoomをはじめとするWEBによる会議や研修が増えましたが、対面による会議も残されています。そうした中で新型コロナウイルスの飛沫等感染によるリスク低減・配慮を図りながら、会議を開催する必要がありました。</p> <p>本事業で購入したワイヤレススピーカーを用いることにより、参加者間の一定の距離の確保を図りつつも、発言が聞き取りやすい環境となるように配慮することができました。</p> <p>感染対策を講じることができたこと、また、マイクを通じた発言とすることにより音声録音もよりクリアなものとなり、会議後に作成する会議録作成にも役立っています。</p>
9	町内循環バス購入事業（令和3年度からの繰越）	<p>住民のニーズに合わせた運行ルートを実現させるため小型の循環バスを購入し、またその車両に感染対策（セパレーター・抗菌・プラズマイオン発生機）を施すことで、より安心安全に町内を移動できる車両環境を整えました。</p>	4,532,437	4,196,057	<p>循環バス用車両：1台 うち本交付金対象外経費としたもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フロアマット ・ナビゲーションシステム ・追加スマートキー（3個） ・ボディコーティング ・電動リモコンドアミラー 	<p>地域の公共交通の一助を担っている循環バス車両を更新することで、安定した町内循環交通体制を敷くことができました。また、その車両に新型コロナウイルス感染対策を行うことで住民が安心して利用することができ、運転免許を持たない地域の方々の移動手段として利用されています。</p> <p>【参考】 循環バス利用者数：6,533人（令和4年度）</p>